

3年生商業科 シラバス（国語）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年	類型	商業科
単位数	2	教科書	新編 論理国語	出版社	東京書籍		
副教材	新編 論理国語学習課題ノート						

学習の到達目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の概要

- ・多彩な論理的文章や実用的文章に触れることで、論理的な思考力や多角的な視点を身に付けることを目指します。
- ・言葉による見方・考え方を働かせ、本文の内容（作者・筆者の意図）を的確に理解する力を育成します。
- ・基本的な言語事項の習得を重視し、語彙力（漢字・慣用表現など）を豊かにすることを目指します。
- ・科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	時代をひらく/最初のペンギン・豊かさと生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え要旨を把握する。 タイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、自分の経験を振り返り、これからの生き方について考える。 「読むこと」において主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 粘り強く記述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ理解する。 	1学期 中間考査
	新しい視点から/物語の外から・カフェの開店準備	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて多様な論点や価値観と結び付けて自分の考えを深める。 筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を捉え、「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考える。 具体例を通して、筆者の思考をたどることでその考えを理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ話し合う。 	
	短い論文を書いて読み合おう	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな問題について書かれた論文を読んで内容を理解し、それをもとに自分の意見を短い論文にまとめ話し合う。 	
2学期	科学と人間/鏡としてのアンドロイド・ロボットが人間になるとき	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして、筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べる。 積極的に筆者の哲学的な思考を理解し、人間の意志や自由について考える。 	2学期 中間考査
	豊かな認識/言葉は「物の名前」ではない・科学的「発見」とは	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、言葉の働きについて考えをまとめ話し合う。 論証したり、学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、内容や構成を的確に捉える。 中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」の関係という文章の構造を理解し、科学的視点に立ったものの見方や考え方を理解する。 	
	物のゆくえ/知識における作者性と構造的性・もう一つの知識	<ul style="list-style-type: none"> 社会において多様な論点や価値観があることについての自分の考えを深める。 「ネット情報」と「本」の違いを読み取り「情報」と「知識」について理解する。 「読むこと」において設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げ深める。 積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか考える。 	
3学期	明日を見つめて/ホンモノのおカネの作り方・未来のありか	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の示す問題提起と結論を具体的に読み取り、抽象的な「貨幣」というものの本質について経済の仕組みとともに理解を深める。 筆者の示す具体例から論旨をたどり、「未来」についての筆者の主張を踏まえたうえで、自分の考える「未来」について考えを深める。 	

3年生商業科 シラバス (国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	文学国語	学年	3	類型	商業科
単位数	2	教科書	新編 文学国語	出版社	大修館		
副教材							

学習の到達目標

<p>(1) 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図ることができる。</p> <p>(2) 文学的な文章に親しみ、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養うとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりするようになる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。 ・小説の読解を中心にしつつ、随想や「書くこと」の学習なども選択的に扱います。文学的な文章を味わい、我が国の言語文化への理解を深める学習を行うことを目標とします。 ・文学的文章を読むための基礎的スキルを確実に育み、また、小説のほかに随想・評論もバランスよく読むことを重視しています。すべての文章を楽しむ姿勢を身に着けることを期待します。 ・我が国の言語文化に対する幅広い知識や教養を活用する資質・能力について、満遍なく身につけることができます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味を持ち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしようとしている。 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい (内容のまとまりごとの評価規準)	定期考査
1 学期	<p>【1】</p> <p>1 明日をひらく 少なくとも最後まで歩かなかった。</p> <p>そとみとなかみ</p> <p>2 小説を楽しむ ナイン</p> <p>4 名作を読む 山月記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。 ・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を対比してとらえ、認識を深める。 ・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。 ・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。 	<p>1 学期 中間考査</p> <p>1 学期 期末考査</p>
2 学期	<p>【2】</p> <p>1 心を見つめる クルミの小部屋</p> <p>2 小説を楽しむ 待合室</p> <p>3 文化を感じる 夏の月 古典の世界 5 能登殿最期 四面楚歌</p> <p>6 名作を読む こころ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。 ・文体の特徴や比喩の効果について考える。 ・登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読む。 ・登場人物の考え方をとらえ、自分の考えと比較しながら自分の考えを広げる。 ・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ・引用された作品を読み、解釈を深める。 ・能登殿の描かれ方をとらえ、読みを深める。 ・漢文の表現に着目し、項王の心情を読み取る。 ・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・優れた表現に触れ、読み味わう。 	<p>2 学期 中間考査</p> <p>2 学期 期末考査</p>
3 学期	<p>7 文学を生み出す 私たちの黄色 タイムリミット 書齋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな小説を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 	<p>学年末考査</p>